

「こころといのちを考える集い」を開催します

今年度は、元秋田放送アナウンサーで現在もフリーアナウンサーや講演会、講座の講師などで活躍されている上野泰夫さんを迎え、笑って心も体も元気になれるお話をさせていただきます。

日 時 ◆ 12月4日(水) 午後1時30分～午後3時
(受付:午後1時～)

会 場 ◆ 美郷町公民館
講 師 ◆ フリーアナウンサー 上野 泰夫 さん
演 題 ◆ ～アナウンサーのこぼれ話と暮らしの中のユーモア～
「笑いは健康長寿の常備薬」
申込期限 ◆ 11月28日(木)

申・問 町福祉保健課 健康対策班 ☎0187(84)4900

軽度生活援助事業のお知らせ

一人暮らしの高齢者または高齢者のみの世帯の方を対象に、日常生活上の軽度生活援助を行っています。

対 象 ◆ 次の要件をすべて満たす方

- ① 65歳以上の単身世帯、高齢者のみの世帯およびこれに準ずる世帯(65歳未満の方で脳血管障害等老化に起因する疾病を有する方を含む)
- ② 心身の障がいや疾病などにより生活援助が必要な方
- ③ 町民税非課税世帯

作業内容 ◆ シルバー人材センター会員による家の周りの除草作業、冬囲いの取り付け・取り外し、玄関前や玄関から道路までの除雪など

利用料金 ◆ シルバー人材センター利用料金の1割を負担

注意事項 ◆ ・この事業で雪下ろしは行いません。

・年間40時間まで利用できます。

・この事業は毎年申し込みが必要です。

申込方法 ◆ 下記の窓口または六郷・仙南出張所へ直接お越しください。

申・問 町福祉保健課 地域包括支援班 ☎0187(84)4907
美郷町シルバー人材センター ☎0187(84)0307

高齢者世帯等の雪下ろし費用の一部を助成します

冬期間の安心・安全の確保と経済的負担を軽減するため、自力で雪下ろしが困難な高齢者世帯等を対象に雪下ろしに係る費用の一部を助成します。

対象世帯 ◆

申請日において美郷町の住民基本台帳に記録されていて、次の要件をすべて満たす世帯

- ① 美郷町内に自らが居住するための住居を有し、現に居住していること
- ② 次のいずれかに該当する家屋であること(車庫、小屋、空き家などは対象外)
 - ・ 本人の持家 ・ 同居家族の持家
 - ・ 無償で借りている家屋
 - ・ 有償で借りていて、雪下ろしを借主が行う契約となっている家屋
- ③ 近親者等の援助を受けることが困難であること

④ 他の方の扶養になっていないこと

⑤ 次のいずれかの方のみで構成される世帯であること

- ・ 70歳以上の方
- ・ 要介護の認定を受けている方
- ・ 要支援の認定を受けている方で、民生児童委員等が特に必要と認めた方
- ・ 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳のいずれかを所持している方

⑥ 当該年度の町民税非課税世帯であること

※生活保護世帯は当事業の対象外となります。

申込方法 ◆ 町福祉保健課または民生児童委員宅に備え付けの申請用紙に必要事項を記入し、「家屋の写真」を添付してお申し込みください。

※写真の添付が難しい場合は、写真撮影のために町職員がご自宅へ伺います。

注意事項

- ・ この事業は毎年申し込みが必要です。
- ・ 申請書類の確認後に「決定通知書」と「雪下ろし登録事業者名簿」を送付しますので、この名簿に掲載されている事業者へ雪下ろし作業を依頼してください。

助成内容

作業区分	対象経費および助成率	1回当たりの助成上限額	年間の利用回数
雪下ろし	作業料金の2分の1	15,000円	2回まで
排 雪	排雪車、運転費用の2分の1	10,000円	2回まで(雪下ろしとセット)

申・問 町福祉保健課 地域包括支援班 ☎0187(84)4907

知っ得!あんしん!!「認知症予防」③⑩

■読む・知る・予防する「認知症」

今月は、町の図書館にある「認知症コーナー」を紹介します。認知症予防について学びたい、不安に感じている、認知症の家族がいるなど、認知症に関するいろいろな「知りたい」に対応できるよう幅広いジャンルの本を取り揃えています。ぜひお気軽にお立ち寄りください。

「名前が出てこない」「忘れっぽくなった」人のお助けBOOK (加藤俊徳(著) / 主婦の友社)

テレビを見ていて「この人、名前なんだっけ?」や買い物に出かけて「あれっ?何を買いに来たんだっけ?」という経験はありませんか。これはちょっとした物忘れで、脳のほんの一部分に老化が現れたものです。

物忘れを自覚できている今がチャンスです。〇〇をしながら□□をするという『ながらエクササイズ』や、物忘れをしなくなる『暮らしアイデア』など日常生活ですぐできることがたくさん紹介されています。

介護のことになると親子はなぜすれ違うのか? ナッジでわかる親の本心 (神戸貴子・竹林正樹・鍋山祥子(著) / メディカル・ケア・サービス)

ナッジとは「ついそうしたくなる心理」をくすぐって、相手が無意識に良い選択をするようそっと誘導することです。

介護サービスを受けることの拒否、運転免許返納の説得、家族介護の負担など、よくある問題を抱える8家族の事例をマンガと会話で紹介。親の本心とナッジを使ったコミュニケーション術を3人の著者がわかりやすく解説しています。あなたの想いはきっと家族に届く…。

おうちにある材料で脳活性! 広告チラシで何つくる? (ブティック社編集部(著) / ブティック社)

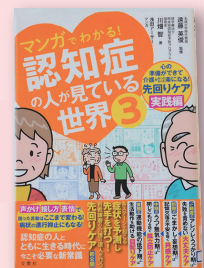
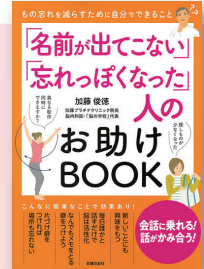
広告チラシを使って手作りしてみませんか。頭で考えながら指先を使って脳を活性化。実用的な小物入れ、敷物、つるし飾りや置きものなどの作り方を大きな文字と写真でわかりやすく紹介しています。コピーして使う型紙付きですぐに始められます。

マンガでわかる! 認知症の人が見ている世界③ (川畑 智(著) / 文響社)

認知症の人の不可解な言動が、どんな仕組みで、どんな順番で起こるか、理解できたらどうでしょう。介護の極意『先回りケア』をマンガでわかりやすく紹介しています。介護者の心理的負担が軽減し、家庭でも役立つ知識が満載の認知症マンガの決定版です。

ぼくとおばあちゃん (すぎやまけいこ(作)・藤本タクヤ(絵) / 文芸社)

大好きなおばあちゃんが認知症になっていく…何回も何回も同じことを聞き返して…。孫の成長と祖母の老い、二人の会話から感じる「老い」が、それぞれの胸に響きます。ほのぼのとした温かいタッチの絵が、心をほぐしてくれます。こどもにも大人にもおすすめの絵本です。



■認知症に関する相談窓口

認知症は早期発見・早期対応が大切です。日常生活の中で心配なことや気になることがあるとき、まずはご相談ください。

問 美郷町地域包括支援センター(町福祉保健課内) ☎0187(84)4907